

Ruby Association

財団法人 Ruby アソシエーションの設立について

2011年7月27日

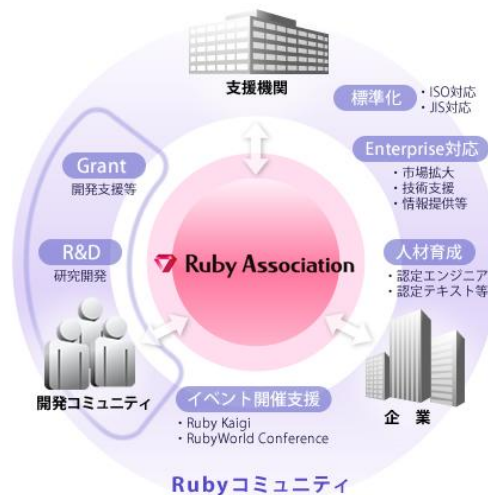
一般財団法人 Ruby アソシエーション

プログラミング言語 Ruby が世に出てから 16 年、Ruby のユーザーは世界中に広がり、主要なプログラミング言語のひとつとしての地位を確実なものにしました。2011 年には日本工業規格(JIS) JIS X 3017 も策定され、国際標準化機構への提出も行われました。

このように世界に広がりつつある Ruby の一層の普及と発展のため、この度、財団法人 Ruby アソシエーションを設立することになりました。Ruby アソシエーションは、Ruby 関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係を強化し、エンタープライズ領域における Ruby の利用に関する諸問題の解決に取り組むことを目的としています。そして、Ruby の普及と発展を通じて、Ruby の市場拡大を、ひいては IT 分野における技術・産業の発展を目指します。

誰でも・いつでも・安心して、Ruby を利用できる社会の構築が Ruby アソシエーションのミッションです。

Ruby Eco System

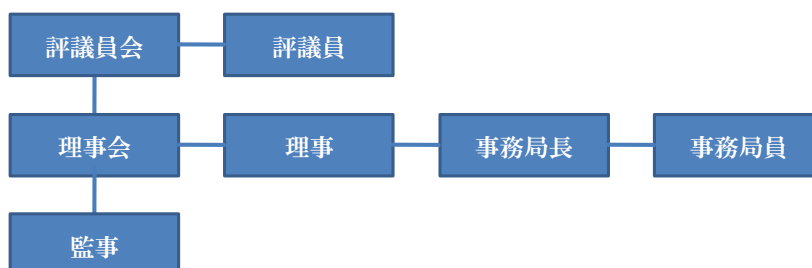


1 組織体制

1) 名称

一般財団法人 Ruby アソシエーション

(財団法人の組織形態) ※必置要件：評議員 3 名以上、理事：3 名以上、監事：1 名以上



2) 設立日

2011年7月27日

3) 主たる事務所

島根県松江市朝日町 478-18 松江テルサ別館 2F

4) 設立者（出資者）

合同会社 Ruby アソシエーション

理事長：まつもと ゆきひろ 設立：2007年7月27日

5) 体制

評議員（12名、五十音順）

及川 喜之 (株)セールスフォース・ドットコム CTO

大場 寧子 (株)万葉 代表取締役社長

後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所 取締役

最首 英裕 (株)イーシー・ワン 代表取締役社長

柴田 直樹 (株)まちづくり三鷹 常務取締役

正村 勉 (株)日立ソリューションズ

技術開発本部 本部長 兼 Ruby センタ センタ長

立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ

サービス本部 プラットフォームサービス部長

羽田 昭裕 日本ユニシス(株) 総合技術研究所 所長

平松 知江子 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

生産革新技術センター長代理

兼 OSS ビジネス推進部長

森 正弥 (株)楽天 執行役員 兼 楽天技術研究所 所長

吉岡 宏 (株)テクノプロジェクト 代表取締役社長

吉田 正敏 富士通(株) プラットフォーム技術本部

チーフストラテジスト

理事長 まつもと ゆきひろ

副理事長 前田 修吾

理事 井上 浩

監事 今岡 正一（公認会計士）

顧問 松浦 正敬 松江市長、溝口 善兵衛 島根県知事

スタッフ 常勤、非常勤スタッフを雇用予定の他、上記の評議員輩出企業のうち数社が人材面での支援を予定しています。また、島根県、松江市及び島根大学も財団設立からしばらくの間、支援を予定しています。

6) 公益認定法人への移行

当財団は、その活動趣旨に賛同頂ける企業、個人の支援のもと、組織体制を整備、実施事業の充実を図り、運営基盤の安定化の後に、公益認定の申請を予定しています(2012年度中)。

7) 当面のスケジュール

- ・2011年7月27日 一般財団法人の設立
- ・2011年8月～2012年10月 合同会社から一般財団法人に業務移管
(全ての業務について移管手続完了後、合同会社は清算の予定)
- ・2012年度中 公益認定申請、公益財団法人化

2 事業内容

1) 開発支援

Ruby 及び関連のライブラリ、フレームワーク、ドキュメントの充実と、Ruby 開発人材の育成を図るため、開発プロジェクトを公募し、開発費用の助成を行います。

①助成対象者

個人、法人及びそれらで組織されるグループ（国外を含む）とします。

②開発テーマ

当財団指定テーマ、又は応募者の自由テーマで行います。

③プロジェクト選考

予め当財団が依頼したプロジェクトマネージャ（複数名）が、応募の中から採択プロジェクトを選考します。

④プロジェクト管理

プロジェクトマネージャが進捗管理、必要に応じた助言、指導、及び最終成果物の確認を行います。

2) 情報発信事業

(1) Web 活用

Ruby を利用する個人、企業関係者は、必要な情報を主に Web で入手する傾向にあります。このため、当財団は、Web を活用した情報発信を行います。

①発信する主な情報

■技術情報

・ライブラリ、コードレシピ、関連ソフトのダウンロード など

■マーケティング情報

・評議員輩出企業・協賛企業・認定事業者の紹介、利用事例の紹介 など

■その他

・最新トピック、教育、サポート、コミュニティ、セミナーの情報 など

②コンテンツの制作、更新

必要とされるコンテンツは、当財団が、評議員輩出企業等数社と連携し、制作します。また、コンテンツの更新にも継続して取り組みます。

③発信言語

日本語、英語

④当面の取り組み

今夏より評議員輩出企業数社の支援のもと、コンテンツの企画、制作に着手します。

(2) RubyWorld Conference 開催

2009 年度と 2010 年度に、現在の Ruby アソシエーションが中心となり、島根県内関係機関の協力のもと実行委員会を設立し、島根県松江市を会場に RubyWorld Conference を開催しました。過去 2 回の開催では、Ruby の先進的な利用事例、最新の技術動向、並びに言語仕様の標準化などの様々な情報を、個人、企業関係者などに幅広く提供し、過去 2 回とも 2 日間延べ約 1,100 人が来場しました。

2011 年度以降も、当財団が中心となり引き続き開催し、来場者に価値ある情報を提供し続けます。

(3) その他、セミナーの開催

RubyWorld Conference と同様に、Ruby ビジネスの中心地である島根、東京、名古屋、大阪、広島、福岡などで価値ある情報を提供するビジネスセミナーを開催します。

2011 年度は、秋頃に東京で開催することを目指します。

3) Ruby 技術者育成支援事業

(1) Ruby 技術者認定試験制度

現在の Ruby アソシエーションが実施する本制度は、Ruby ベースのシステムを設計、開発、運用するエンジニア、Ruby でシステム提案を行うコンサルタント、Ruby を教える講師などを対象とした認定試験です。試験の合格者は、Ruby 技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準の Ruby によるシステム開発能力を有する「Ruby Association Certified Ruby Programmer Gold」、又は「同 Silver」として認定されます。現在、この試験は、CBT (Computer Based Tasting) によって世界中で受験可能です。Ruby アソシエーションでは、試験問題、並びに試験実施の監修をしています。

財団設立後、然るべき時期に本制度を、現在の Ruby アソシエーションから当財団に業務移管します。

(2) Ruby 技術者認定推進校プログラム

現在の Ruby アソシエーションが実施する本制度は、所定の条件を満たし、Ruby 技術者認定試験対策コースを実施する教育機関を紹介することで、認定試験の普及を目的としています。認定推進校は、Ruby アソシエーション公式サイトで紹介、認定ロゴと認定機関の呼称の使用を認められます。

当財団設立後、然るべき時期に本制度を現在の Ruby アソシエーションから当財団に業務移管します。

4) 事業者認定制度

(1) Ruby アソシエーション認定システムインテグレータ制度

現在の Ruby アソシエーションが実施する本制度では、Ruby 技術者認定試験の Gold、又は Silver の認定技術者が正社員として 5 名以上所属する企業は、Ruby アソシエーションに登録申請を行うことが出来ます。Ruby アソシエーションによる条件審査の後、「Ruby Association Certified System Integrator Gold」、又は「同 Silver」に認定され、認定プレートを授与、Ruby アソシエーション公式サイトで紹介、及び認定ロゴと認定企業の呼称の使用を認められます。

本日現在で、Gold 認定企業は 3 社、Silver 認定企業は 34 社です。近年、確実に認定企業数は増えています。

当財団設立後、然るべき時期に本制度を現在の Ruby アソシエーションから当財団に業務移管します。

(2) Ruby アソシエーション認定サポートサービス制度

当財団が新たに開始する本制度は、Ruby アソシエーション認定システムインテグレータ制度と同様に、Ruby 技術者認定試験の Gold、又は Silver の認定技術者が正社員として 5 名以上所属する企業で、Ruby に関連するサポート事業を実施している場合に当財団に登録申請を行うことが出来ます。条件審査の後、「Ruby Association Certified Support Service Provider Gold」、又は「同 Silver」に認定され、認定プレートを授与、Ruby アソシエーション公式サイトで紹介、及び認定ロゴと認定企業の呼称の使用を認められます。

(3) Ruby アソシエーション認定クラウドサービス制度

上記認定サポートサービス制度と同じく当財団が新たに開始する本制度では、クラウドサービス事業者が自社サービスについて Ruby 開発で利用されているテストツールによって問題がないことを証明し、且つ、Ruby の開発環境および実行環境などの提供サービスに関する資料を提出し、当財団が審査の後、一定水準でのサービスの質が確保されていると認められるクラウドサービス事業者を認定します。認定事業者は、

認定プレートを授与、Ruby アソシエーション公式サイトで紹介、及び認定ロゴと認定企業の呼称の使用を認められます。

5) 認定事業者支援事業

当財団では、認定サポートサービス事業者に向けた問い合わせ対応を実施することで、認定サポートサービス事業者のサポート事業が円滑に進み、より良い Ruby のビジネス環境を実現します。

①事業概要

認定サポートサービス事業者を対象にインシデント制のサービスを提供します。なお、一般のユーザ（個人、企業）には、各認定サポートサービス事業者のサービス内容を紹介します。

②対応範囲

Ruby 及び周辺のライブラリ、フレームワークとします。

但し、以下は対象外とします。

- ・ Ruby 及び周辺のライブラリ、フレームワークの修正
- ・ プログラム開発、新規のサンプルコードの作成
- ・ 認定サポートサービス事業者が作成したソフトウェアや特定のデバイスが無ければ調査できないような問題の対応
- ・ 設計、提案、パフォーマンスチューニング、その他質問が具体的になっていないような相談の類で、一般的にコンサルティングにあたる業務

③対応者

当財団が、評議員輩出企業等と連携し、サービス提供します。

6) その他、財団運営を支える収入

当財団では、設立支援金、協賛金制度、及び寄付金を通じて、多くの企業、個人の皆様に Ruby の普及と発展を支えていただく仕組みを構築します。

提供頂いた資金は、Ruby アソシエーションの運営、上記各事業の実施に活用する一方で、Ruby 市場の拡大に向けた価値あるサービスを提供することで還元いたします。

(1) 中核支援企業による設立支援金

評議員輩出企業をはじめ、関係企業に設立支援金を依頼します。

この設立支援金は、2011 年度限りのものであり、支援企業は公式サイトでご紹介します。

(2) 法人協賛金

2012 年度以降は、広く国内外の法人（ベンダ、ユーザ）に協賛金を呼びかけます。一般に募集を呼び掛ける法人協賛金は、年 10 万円を想定しております。また、例えば設立支援いただいた法人については、それ以上の協賛金を期待します。

なお、協賛金の特典としては、以下を検討中です。

- ・ Ruby アソシエーション公式サイトにスポンサーバナーを掲示
- ・ Ruby アソシエーションとの共同プレス権の提供
- ・ イベント入場特典（ビジネスセミナーでの 2 ペア無料等）の提供 など

(3) 個人協賛金

(4) その他、寄付金募集

本件のお問い合わせ先

一般財団法人 Ruby アソシエーション
副理事長 前田修吾

TEL : 0852-28-9280 FAX : 0852-28-9281

((株)ネットワーク応用通信研究所内)